

第12回手賀沼トライアスロン大会要項

(兼・第12回柏市民・我孫子市民トライアスロン大会)

▲場 所 : 千葉県柏市箕輪新田・手賀沼および手賀沼自然ふれあい緑道

▲開 催 日 : 平成29年8月20日 (日) 08:10スタート

▲競技種目 : 距離 スイム1.5Km・バイク40Km・ラン10Km ・トータル51.5Km
I・個人の部 II・リレーの部

▲参加定員 : 個人400名・リレー50チーム

▲ 出場資格 (JTU会員優先)

18歳以上(市民大会は16歳以上)の健康な男女、トライアスロン大会の出場実績もしくは、水泳・自転車・マラソンの経験があり、制限時間内にフィニッシュする体力・気力を有する者。

大会当日20歳未満の方は参加申し込みにあたり、親権者の同意が必要です。

(申し込み選手登録された時点で親権者の同意を得ているものと判断します。)

▲荒天・水質悪化・高水温の場合。外気温度上昇によりレース続行が危険と判断した場合。

・沼の水質悪化、高水温で水泳が困難、荒天の場合、外気温度上昇で選手の安全と競技続行が困難と判断される場合は、コース・距離・競技の変更(ラン・バイク・ラン)

または、競技を中止します。

・雨天決行

*大会当日は猛暑が予想されます、熱中症、熱射病になる危険があることを参加申し込み者は、ご理解いただき、選手個人の責任において申し込みください。

*荒天等で大会が中止になった場合参加賞の送付はいたしますが参加費の返金はいたしません。

▲沼の水質検査・底質の放射能測定(8月大会前に測定します。)

▲競技規則・ローカルルール

(公社)日本トライアスロン連合、(JTU)競技規則及び、ローカルルールを適用します。

・スイム競技中はウェットスーツの着用を義務とします。(選手の安全確保のため)

朝6時の水温計測で水温が30度以上でウェットスーツ着用が危険と判断した場合、スイムを中止し、ランに変更します。

・バイク競技中はドラフティング及びブロッキング禁止とします。

・サイクルメーターの装着を義務とします。

・エアローヘルメットの後部が細く長いヘルメットは安全上競技に使用できませんので通常ヘルメットをご持参ください、運営側での貸し出しはしていません。

・バイク競技中はペットボトルの使用は禁止です、バイク専用ボトルを使用してください。

・ウェアでフロント・ジッパーの着用は可能ですが、必ず首元まで上げて下さい。

ジッパーが下がっている方、服装が乱れている選手には審判の方より注意喚起します。

・誓約書・競技規則をかならずお読みいただき競技に参加してください。

・大会中の写真撮影は肖像権及び盗撮防止のため運営側で発行する許可証が必要です。

・選手受け付けは、ご本人が受付してください、代理受付、代行参加はできません。

・受付時にヘルメットの装着状態等の確認をします。

・競技中に外気温度が危険レベルに上昇すると判断した場合、競技中止、ラン距離の変更有

▲制限時間

第1ウエーブ:スタート 午前8:10, 第2ウエーブ:スタート 午前8:20分

・スイムフィニッシュはスイムスタートから 1時間後。

・バイクフィニッシュはスイムスタートから 2時間40分後。

・ランフィニッシュはスイムスタートから 4時間10分後。

*競技終了時間 12:30

▲傷害保険

・選手個人で加入してください。

熱中症、熱射病の補償がある保険加入をお勧めします。

▲表彰

◎個人の部

○総合 男子1位～6位・女子1位～3位

○年代別男子の部～19歳まで1位～3位、20歳から10歳ごと1位～3位表彰

○年代別女子の部～19歳まで1位、20歳から10歳ごと1位表彰

(各年代で参加者数にて1位～3位の表彰。) *総合入賞者は年代表彰対象外とする

◎リレーの部

○総合1位～3位表彰

○女子チーム1位表彰

◎柏市・我孫子市民の表彰対象者は柏市トライアスロン協会、我孫子市トライアスロン協会、各協会登録者とします。

○個人総合1位～3位 (男女別)

▲参加費

○個人の部・・・JTU登録者 11,000円、未登録者 13,000円

トライアスロン協会会員登録をお願いします。

○リレーの部1チーム・・・12,000円

▲申込締切

◎期日5月1日～5月31日 (個人400名、リレー50チームに達した時点で締め切りとします。)

▲申込方法

インターネット登録のみとなります。

◎申し込みはWEBエントリーより (<http://entry.msipo.jp/?evcode=GT17>)

◎誓約書を必ずお読み下さい。

*申込をされた時点で、誓約書をお読みになりご理解のうえ誓約したとみなします。

◎大会当日未成年の方は保護者の同意が必要です。保護者の方の同意を得て申し込み下さい。

◎申込書に不備または申告内容に誤りのある選手は出場資格を失う場合があります。

必要事項の空欄の無い様をお願いします。

◎申し込み締切り (5月31日) 以降の出場取り消しは、参加費の返金はいたしません。

◎リレーの申し込みは代表者が一括して申し込んで下さい。

▲大会運営事務局

〒270-1454 千葉県柏市柳戸564-18 手賀沼トライアスロン事務局

電話 080-5019-8554

事務局問い合わせは、メールをお願いします。

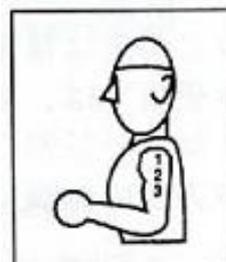
大会問合せ ([meil:tega_tora_0827@yahoo.co.jp](mailto:tega_tora_0827@yahoo.co.jp))

競技規則(ローカルルール)と注意事項

本大会は、社団法人日本トライアスロン連合競技規則と共に下記ローカルルール等を適用します。

競技共通事項

- 申込者本人以外競技に参加することはできません。(代行出場等は禁止します。)
- フロントジッパー付の競技ユニフォームの着用は認めます。競技中はジッパーを完全に上まで閉めておくことが条件です。(暫定処置)
- レースナンバーは大会本部から配布されたものを、上半身ウェアの前後の見えやすい位置にしっかりと付けて下さい。バイクとランでウェアを着替える場合は、バイクは背面、ランは前面にそれぞれ付けて下さい。
- スイムの際は、左上腕外側に右図のようにレースナンバーをマジックでしっかりと書いて下さい。ウェットスーツがフルスーツの場合は手の甲に書きます。リレー競技では、スイム選手のみがレースナンバーを書くことが求められます。
- 雨天でも競技を実施します。但し天候や競技環境が悪化した場合や高温気象の場合は距離短縮やデュアスロン等に競技内容を変更することがあります。最悪の場合競技を中止することもあります。競技中止の場合でも返金いたしません。
- 入水前に配布する計測バンドは必ず足首に装着して下さい。スイム・バイク・ランの競技中は決して外さないで下さい。計測バンドを装着しないで出走した場合、又は途中で外した場合は失格となります。
- 制限時間：スイムフィニッシュはスタートから1時間後、バイクフィニッシュはスタートから2時間40分後、ランフィニッシュはスタートから4時間10分後です。制限時間を過ぎた場合は競技を中止して頂くことがあります。
- 個別の周回数を競技スタッフ等が数えることはできません。予め周回数を確認して下さい。バイクに於いてはサイクルメーター、ランに於いては輪ゴム数により自分の周回数を把握して下さい。周回不足は失格となります。
- 救護 TENT を本部近くに設置します。医師や看護師が待期し応急処置を行います。
- 当日の体調に不安がある時は勇気ある欠場を勧めます。さらに、競技途中に於いても体調に異常を感じた時は勇気あるリタイアを勧めます。
- 競技途中にリタイアする際は、近くにいる審判員にその旨伝え、計測バンドを渡して下さい。スタート地点に戻るコースは審判員の指示に従って下さい。(逆走は危険です)。
- 個人で保険に加入したうえで大会に参加して下さい。
- 競技中のけが等に要した治療費、バイク、ウェア、備品等の保障は大会運営側ではできません。
- 緊急時に救急車両がコース内に入ることがあります。救急車両の通行を第一優先とします。その際は審判の指示に従って下さい。競技中断が発生した場合でもタイム修正はありません。
- ヘッドフォンオーディオ機器は競技安全確保のため使用を禁止します。
- タトゥー等につきましては、他人の目に触れぬよう、衣類、テープ等で覆って頂きます。
- リザルト(公式記録)は大会終了後数日以内に大会ホームページに掲載します。記録証の必要な方は直接MSPOエントリーに申し込んで下さい。(有料となります。)



トランジション

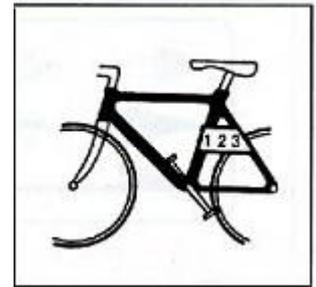
- トランジションには競技に必要な競技用具のみ持ち込みを許可します。その他の荷物は手荷物預り所に預けて下さい。
- 競技用具は自分のバイクがカバーする範囲からはみ出さないように置いて下さい。カバーする範囲とは概ね幅はバイクハンドル幅、長さはバイク長の範囲です。
- 防犯及び安全管理の立場よりレースナンバーを付けた選手以外の方の立ち入りはできません。
- バイクの取り出しは、バイク競技が終了し、安全が確保された時点で、審判長が判断します。トランジション解放の放送に従って下さい。
- バイク返却時には、レースナンバーを必ずお持ち下さい。紛失した場合は、防犯上他のすべてのバイクが持ち出される迄お待ち頂くこととなります。紛失しないよう注意して下さい。

スイム

- コースは棧橋より入水し、そこからフローティングスタートとなります。手賀大橋に沿って湖の中心部にあるブイまで進み、ブイの手前を左折して西に向かいます。スタート地点より750メートル先に設置してある折り返しブイを時計方式で回り、スタート地点に帰泳する1往復1500mの距離です。
- ウェットスーツは安全上 着用を義務とします。
- スイムキャップを用意しますので指定のキャップを着用して下さい。
- スイムコースに張られているロープ及びブイにつかまって小休止をとることは可です。但しロープをたぐって前進することは禁止です。たぐり前進はペナルティーとなります。
- 競技の途中、体の異常が発生し救助を求める場合、近くの救助員、救助船に向かって手を大きく振り、合図して下さい。 勇気あるリタイアが次の大会につながります。
- 競技は2つの組(ウェーブ)に分けて行います。申告タイムの早い方から第1ウェーブ、第2ウェーブと振り分けます。 実力より早く申告しますと早い選手と一緒にバトルに巻き込まれる危険があります。申し込み時の申告タイムは 1500m の正確なタイムを申告してください。

バイク

- 緑道を4km 先の折り返し地点まで往復するコースです。5周回 40kmとなります。緑道全幅をセンターラインで分けた対面通行となります。
- バイクにはサイクルメーターの装着を義務付けます。周回ミスを防ぐためスタート時にリセットして距離の確認を実施して下さい。
- マウンテンバイクでの出場は可です。ミラー、ライト、スタンド等付属品は取り外して下さい。取り外せないスタンドは布等で覆うようにして下さい。サイクルメーターの装着は義務です。
- 会場内及びコース上はヘルメット装着を義務付けます。貸出はありません。
- ヘルメットの着脱は正しく行って下さい。(ストラップを締めてからバイクをラックから外す。 ラックにバイクを掛けてからストラップを外す)。
- 後方にとがったエアロタイプヘルメット(TTヘルメット)は使用不可とします。
- バイクチェックは行いません。バイクの整備・調整は事前に各自の責任において実施して下さい。
- バイクステッカーは左側から見える位置につけて下さい。(右上図参照)
ヘルメットステッカーはヘルメットの正面につけてください。
- バイクは自分のレースナンバーが張ってある所に置きます。サドルをバイクラックに掛けてバイクを固定します。レースナンバーシールがパイプの側面に張ってあります。レースナンバーが見える位置に立ち、バイクのハンドルが手前に来る「ハンドル前」方式で掛けて下さい。
- ドラフティング(他の選手のバイク後方につき風よけに利用すること)は禁止です。
- 左側走行(キープレフト)を行って下さい。常にコースの中央寄りを走行することはペナルティーとなります。
- 追い越しをするときは、「右側通ります」と一声かけて追い越し体制に入して下さい。
- 追い越し禁止ゾーンを設けてあります。違反はペナルティーとなります。
- エイドステーション(給水所)はありません。バイク用ボトルを準備し水分補給をして下さい。
- ペットボトルをバイクに装着することは禁止です。バイク用ボトルを使用して下さい。



ラン

- 緑道を1.6Km 先の折り返し地点まで往復するコースです。3周回 10kmとなります。緑道全幅の半分を使用したコースとなります。コース中央部をカラーコーンで分離した対面通行となります。
- 遠方の折り返し地点で輪ゴムを渡します。手首にはめます。ゴール後に3本あるかチェックします。
- エイドステーションは本部側1ヶ所、遠方の折り返し地点1ヶ所と合計2箇所設置します。
- 同伴フィニッシュは他の競技者の妨げにならない範囲で認めます。審判がコントロールしますので、同伴者は侵入口でレースナンバーを申告して下さい。

リレー (アンクルバンドをリレーのバトンのように引き継ぐ競技です)

- 引継の場所はトランジションの中、自チームのバイクが置いて場所の前です。次の走者はそこで待機し前の走者から計測バンドを引き継ぎます。
 - ・スイム→バイクの引継 : バイク選手は計測バンドを受け取ってからバイク競技に入ります。
 - ・バイク→ランの引継 : バイク選手はバイクをラックに掛けてから計測バンドを引き渡します。次の走者が計測バンドの取り外しを手伝うことはできません。
- 次の走者以外がトランジションに入ることを禁止します。前の走者は引渡し終了後速やかに出て下さい。